

一 般 質 問 通 告 一 覧 表

平成29年9月第3回定例会

(全て 一問一答)

質問者	質問事項	質 問 の 要 旨
田島 乾正	(1) 商店街について	「後継者育てず店舗は放置」 日本各地で商店街が繁栄を極めたのは1980年代初頭までで、かつての商店街のほとんどが、今や空き店舗の並ぶ「シャッター街」です。原因に挙げられるのが、無料駐車場付きの大型店舗との競争に敗れたことと、旧態依然の品ぞろえが顧客ニーズと合わず、コンビニや専門量販店に負けてしまったことです。 とはいえ、一度、完全に機能停止した商店街を再起動することはとても難しいことです。鍵は、外部の若い血を入れて新陳代謝を起こすことです。その為に必要なのは、やる気のある若者が少ない資金で店を借りられる仕組みです。地権者の不労所得を増やす家賃補助ではなく、改装資金や経営ノウハウ支援が重要であり、岬町の商工業者の現状と過去の商工業者育成経緯をお訊ねします。
	(2) 農政問題について	「市民農園」 畑を持たない人が都市部や近郊に点在する農地を借りて野菜を育てる「市民農園」が増加している。農林水産省によると、市民農園の数は2016年3月末時点で、4,223カ所の19万区画。10年前と比べ1千カ所以上増えている。都市農業室の担当者は「農地所有者と利用者双方のニーズは高い」と話す。過去にも耕作放棄地・遊休地等の一般質問を数回質問した経緯がありますが、その後の農政対策の実施結果と、検証成果の結果についてお尋ねします。
小川 日出夫	(1) 深日港活性化について	・ 深日港⇄洲本港の旅客船の今後の運営について。
	(2) 第二阪和国道の進捗について	・ 孝子ランプの開通について。 ・ 生活道路の復旧工事について。
坂原 正勝	(1) 災害時の要援護者対策について	・ 避難支援対策・個別支援計画等の現状はいかに。
	(2) 職員の人材確保について	・ 住民サービスの確保・向上を見据え、職員の働き方を考える。
	(3) 「引きこもり」の社会復帰支援について	・ 「引きこもり」の現状と支援について問う。
中原 晶	(1) 防災・減災対策について	全国で災害が多発しているもとの、岬町においても対策を強めるべきと考えるが、防災行政無線による町内放送の改善が必要ではないか。防災行政無線の新設・更新の計画を問う。 聞こえなかった放送内容を聞くことができる電話サービスを導入すべきではないか。
	(2) 教育行政について	・ 就学援助の金額を実態に合わせて増額することや、就学援助金を必要な時期に支給することが必要であると考えているが、いかがか。
	(3) “子どもの貧困”対策について	・ 昨年の12月議会において「子どもの生活実態調査」をおこなうよう求めたが、その後の検討状況はいかがか。 ・ “子どもの貧困”対策を総合的にすすめるために、部課を横断した組織が必要と考えるが、町はどのように考えるか。

質問者	質問事項	質 問 の 要 旨
竹原 伸晃	(1) 岬町の教育を充実させるために	・町立小中学校の学力・体力向上について。 ・少子化の影響による教育環境への対応策は。 ・安心安全な登下校について。
	(2) 今後の公共交通の考え方について	・バス利用者数と町の負担額は。 ・町内に過疎地タクシーの制度を導入できないか。 ・数年先まで見越した交通政策を。
和田 勝弘	(1) 阪神高速湾岸道路延伸について	・阪神高速湾岸道路を岬町への延伸要望について
	(2) 深日ロータリー信号について	・深日ロータリー岬加太港線から和歌山方面の時差信号について
松尾 匡	(1) 増加する空き家の諸問題とその対策、また空き家バンク制度の見直しについて	国の地方創生予算にて、岬町における空き家の実態調査が行われ、増加する空き家の様々な問題に対しての対策の取組みが、ようやく始まりました。そこで今後、空き家の問題についてどのように対策を進めていくのか、利活用に向けた取組みも含めてお聞きします。
		また空き家バンク制度の今の状況や利用状況、見直しの必要性などを検証します。